

わたしの議会。



8月から鳥羽市議会公式LINEを開設しました。詳しくは11ページをご覧ください。

とば市議会だより 目次

令和元年度決算の概要……………	2	開催中！TOBAミライトーク……………	11
常任委員会報告……………	3～5	鳥羽市議会公式LINE(ライン)を開設…	11
議員別表決結果……………	6	きらり輝く人達、他……………	12
一般質問……………	7～10		

令和元年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定のほか、負担付きの寄附の受納についてなど、議案23件と発議3件、請願1件を審議しました。

議会報告

令和元年度 決算の概要

- ふるさと納税寄附金は、真珠製品の復活により前年対比2億4,974万5,000円増の4億2,826万5,000円となりました。
- 財政調整基金残高は、1億5,000万円の取崩、1億2,681万1,000円の積立により5億5,454万9,000円となりました。
- 普通建設事業費は、水産研究所建設工事や鳥羽市民体育館メインアリーナ改修工事などを行い、前年度比6億8,504万8,000円増の16億7,914万9,000円となりました。

令和元年度の決算は、一般会計で実質収支が3億4,738万2,000円の黒字となり、前年度の実質収支を差し引いた単年度収支においても416万2,000円の黒字となりました。

また、特別会計では実質収支において国民健康保険事業で4,571万4,000円、介護保険事業で9,544万5,000円、後期高齢者医療で435万9,000円の黒字となっており、5事業の合計で1億4,552万円の黒字となりました。

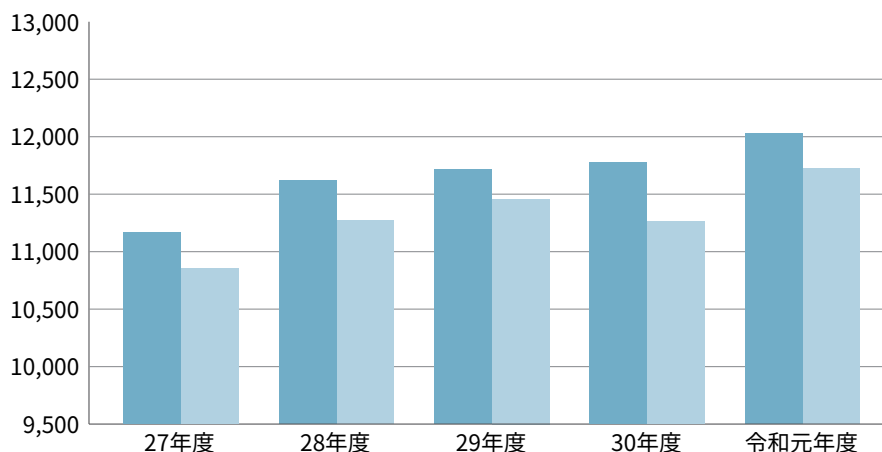
令和元年度における一般会計、特別会計の決算状況は下表のとおりです。

令和元年度 会計別決算状況

(単位：千円)

区分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額 (形式収支)	翌年度へ 繰り越す べき財源	実質収支	平成30年度 実質収支	令和元年度 単年度収支
会計		A	B	C (A-B)	D	E (C-D)	F	G (E-F)
一般会計		12,078,053	11,729,746	348,307	925	347,382	343,220	4,162
特別会計	国民健康 保険事業	2,983,000	2,937,286	45,714	0	45,714	103,763	△ 58,049
	介護保険 事業	2,820,996	2,725,551	95,445	0	95,445	89,153	6,292
	定期航路 事業	637,867	637,866	1	0	1	1	0
	特定環境 保全公共 下水道事業	142,613	142,612	1	0	1	1	0
	後期高齢者 医療	510,499	506,140	4,359	0	4,359	5,261	△ 902
	小計	7,094,975	6,949,455	145,520	0	145,520	198,179	△ 52,659
合計 (一般+特別)		19,173,028	18,679,201	493,827	925	492,902	541,399	△ 48,497

一般会計決算規模の推移



(単位：百万円)

	歳入	歳出
27年度	11,167	10,853
28年度	11,615	11,348
29年度	11,649	11,431
30年度	11,671	11,241
令和元年度	12,078	11,730

戸上健

一陽来復予算になったのか

市長

ほぼ順調に予算執行した

問 市長は去年3月議会で「一陽来復予算」と命名すると言いました。結果を説明してください。

答 市長 真珠製品のふるさと納税復活が、市民にとっても、経済界にとってもプラスの意味があったのではないかと思います。金額的にもですが、真珠というこのまちにとってのシンボルといえますかプライドみたいなものがまた認められたということで、気持ちの面でも温かさ、春、来復ということを感じました。種まきという意味では事業はほぼ順調に予算の執行もされましたので、これから咲いてくる花を待ちたいと思っています。

常任委員会報告

● 各常任委員会に 21 議案と 1 請願が付託されました。

総務民生 委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第28号 鳥羽市土地開発基金条例の一部改正について（基金を活用した用地の先行取得機会の減少に鑑み、財源の有効活用を図るため所要の改正を行う。）

〈内容〉
基金の一部が処分できるように改める。）

問 土地開発基金としての役割が少なくなったとあるが、今後土地開発基金としての利用はないのか。

答 役割が無くなるわけではない、基金のすべてを取り崩すわけではない。

文教産業 委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第25号 負担付きの寄附の受納について（市民の健全な身の発達と体力の向上に資する武道振興事業の拠点として鳥羽市武道振興会から鳥羽市武道館を受納する。）

〈寄附の条件〉
武道館の運営を継続し、武道の振興を図ること等）

議案第34号 鳥羽市運動施設の管理に関する条例の一部改正について（鳥羽市民体育館サブアリーナの利用料金を定めるとともに、鳥羽市武道館の設置及び管理に関し、所要の改正を行う。）

問 武道館とサブアリーナのトレーニングルームのすみ分け

はどのように考えているのか。

答 サブアリーナについては国体

終了後に器具を入れる予定をしている。武道館はウエイトトレーニングを中心に、サブアリーナはエアロバイク等の健康を重視した器具を入れ、対象者を分けて運用していきたいと考えている。

議案第35号 景観計画の策定について（良好な景観の形成を図るため、景観法に基づく鳥羽市景観計画を策定する。）

問 計画についてどのようにわかりやすく伝えていくのか。

答 半年間の周知期間を設ける予定である。広報やホームページのほかに、景観に対しての認識を高めるため、年明け頃に講演会を予定している。計画の中に重点候補地区をうたっているが、該当地区の町内会長には説明させていただいている。各種団体等から要望があればその都度説明をさせていただこうと考えている。

予算決算委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

認定第1号 令和元年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定

審査終了後の委員間討議で委員から出された主な意見

企画財政課

地域おこし協力隊事業について隊員の持つスキルをもっと活かし、他課の事業との結びつきを強くしたらどうか。隊員の存在が地域に良い影響を与えている。契約終了後となる4年目以降の活動に結び付けてほしい。

鳥羽高校活性化支援事業では、生徒たちが地域課題に対する解決策を考え、地域おこし協力隊とともに実践しており、「海

女VR動画」やまち歩きマップ、オリジナル看板の作成など鳥羽高生の力を活かした素晴らしい事業成果を高く評価したい。

健康福祉課

まちトークの実施により地域課題をつかみ、地区単位でのカルテを作成し、事業の廃止や事業間の連携についての検討材料とすべきである。

農水商工課

観光課

海女文化の継承と漁観連携の更なる拡充については観光課と農水商工課の連携を更にお願する。

建設課

空き家活用促進については、空き家の管理を徹底するとともに定住促進につながる事業として取り組んで欲しい。

消防本部

新消防庁舎の建設により、各分団の消防車両や格納庫の整備要望に対して、対応が遅れているので、それら積み残し課題の解消を要望する。

学校教育課

学校図書館整備事業では、学校図書館の貸し出し実績が増えているが、各小中学校からは司書資格者の派遣増加が求められている。子どもたちの読書への意欲を増進するためにも司書資格者の派遣日数増加を要望する。教育支援の拡充を求める。

生涯学習課

本当に海女と出会えるまちの実現をするように、例えば海の博物館と連携し、海女の休漁期間に海女と会える機会を作るなど検討し、海女、海の博物館の両方の収入増に結びつけてほしい。

図録「三島由紀夫と神島」の刊行について、議員のところにも多くの問い合わせをもらっており、事業への関心の高さがうかがえ、高く評価する。

議案第20号 令和2年度鳥羽市
一般会計補正予算(第8号)

問 庁舎等維持管理業務で感染者の行動履歴で市の施設が該当した場合に除染作業するところがあるが、どのような手段で該当することを知らのか。

答 保健所からの情報提供で知る。

問 ワーケーション事業の壁として、地域のWi-Fi整備率の低さとテレワークの実施会社はまだ少ないといったことがあるがどう考えているか。

答 地域のWi-Fi整備率の低さで考えるのではなく施設での整備で対応できると考えている。テレワークについてはまだまだ実施企業は少ないがテレワークが可能であるところから先進地のことも参考にしながらセルルスなど働きかけ、推進していく。

提言書

決算審査の委員間討議を踏まえ、10月2日に提言書を市長に提出しました。提言項目は次のとおりです。

1. 新型コロナウイルス感染症の影響により、変わりつつある社会生活のあり方を踏まえ、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、世代や分野を超えつながることで、明るく豊かな地域をともに創りあげていく鳥羽市独自の地域共生社会の実現が必要である。そこで、まちトークなどによる地域課題の把握、各課の意識共有を行いながら、課題解決のために全庁あげて具体的な事業展開に努められたい。

2. GIGAスクール構想による小中学生の児童生徒に1人1台PC整備と学校に高速大容量の通信ネットワークを整備し、子どもたちの創造性を育む教育など、昨

今の教育環境は目まぐるしいスピードで変革がなされている。今後は、ICTの教育環境のみならず、あらゆる変化を見据え、「鳥羽市で子育てできて良かった」「誰もが鳥羽市で子どもを育てたい」と思われるような教育環境の充実・拡充をされたい。

提言書はホームページでも公開しています。



左から山本副議長、木下議長、浜口予算決算常任委員長、中村市長

人事

教育委員会委員の任命に同意
浅尾美沙氏

公平委員会委員の選任に同意
小竹寛氏

議案番号	議案名	議決日	審議結果	南川則之	濱口正久	瀬崎伸一	片岡直博	奥村敦	河村孝	山本哲也	中世古泉	木下順一	戸上健	浜口一利	坂倉広子	坂倉紀男	世古安秀
20	令和2年度鳥羽市一般会計補正予算(第8号)	9月4日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
21	令和2年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
22	令和2年度鳥羽市一般会計補正予算(第9号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
23	令和2年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	10月2日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
24	令和2年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
25	負担付きの寄附の受納について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
26	鳥羽市みえ森と緑の県民税市町交付金基金条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
27	鳥羽市森林環境譲与税基金条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
28	鳥羽市土地開発基金条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
29	鳥羽市税外収入金に係る督促及び延滞金に関する条例等の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
30	鳥羽市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正について	9月4日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
31	鳥羽市民の環境と自然を守る条例の一部改正について	10月2日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
32	鳥羽市における再生可能エネルギー発電事業と自然環境等の保全との調和に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
33	鳥羽市景観条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
34	鳥羽市運動施設の管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
35	鳥羽市景観計画の策定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
36	鳥羽市辺地の総合整備計画の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
37	令和元年度鳥羽市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
38	教育委員会委員の任命について	9月15日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
39	公平委員会委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
40	工事請負契約の締結について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
認定1	令和元年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	10月2日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
認定2	令和元年度鳥羽市水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
請願1	鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の保障と充実を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
発議4	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
発議5	防災・減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
発議6	鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の保障と充実を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
報告3	令和元年度鳥羽市健全化判断比率の報告について		報告につき採決なし														
報告4	令和元年度鳥羽市定期航路事業特別会計資金不足比率の報告について																
報告5	令和元年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について																
報告6	令和元年度鳥羽市水道事業会計資金不足比率の報告について																
報告7	一般財団法人鳥羽市開発公社及び公益財団法人鳥羽市武道振興会の経営状況の報告について																

これが聞きたい・ここが聞きたい

一般質問



9月10日～9月11日に7人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。

※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

日程	議員氏名	項目
9月10日(木)	戸上 健	コロナ禍から市民の命と営業を守るための諸対策について コロナ禍における新たな「人権条例」の制定について コロナ禍における新たな図書館運営について コロナ禍が示した災害対応の強化策について
	濱口正久	コロナ禍の学校教育の現状把握と今後の教育ビジョンについて コロナ禍における経済の振興策と域内循環について
	南川則之	鳥羽市公共施設等総合管理計画について 市が取り組むべき鳥獣被害対策について
	瀬崎伸一	A L Tを主軸にした子ども達の英語学習環境について コロナ禍を生きる子ども達の学習環境について
9月11日(金)	河村 孝	海女漁業の現状と今後の支援対策について 地域公共交通について
	浜口一利	新型コロナウイルス感染症阻止と経済再開について
	山本哲也	新型コロナウイルスによる観光への影響と今後の観光行政について

市長

必要であれば国へ
求めていきたい

問 国の責任でPCR検査を実施するよう
に改めて国、県へ強く働きかけて
いただきたいと思いますが市長の姿
勢を聞きます。

答 市長 自治体の規模や財政力によっ
て左右される部分が多く、同じよう
にコロナウイルスと戦っているにも
関わらず、どこに住んでいるか
という違いで環境に差が生じているこ
とについては、大変心苦しく思っ
ています。今後の動向に注視し、必要
であれば国に求めていきたいと考
えています。

問 相談窓口は機能していますか。

答 農水商工課長 9月1日より国の休
業支援金・給付金の申請手続きの支
援について対応を始めました。また、
9月4日より毎週金曜日、市相談所
と同じ市民文化会館※3階にて、中
小企業庁の三重県よろず支援拠点が
相談窓口を開設しました。

PCR検査を
国・県へ強く働きかけて



戸上 健

問 第2次補正の実施計画は教訓を踏
まえて積極的に活用してもらいたい
と、市民と業界は願っています。小
中学校体育館へのスポットクーラー
の導入と避難者のパーティションの
補充はいかがですか。

答 総務課副参事 地方創生臨時交付
金を活用できるうちに少しでも整備
を進めたいと考え、体育館等、大規
模な避難所に一定数を配備できるよ
う、実施計画への取りまとめを調整
しています。

※市民文化会館：現鳥羽市役所西庁舎



鳥羽市新型コロナウイルス感染症関連助成金等事務相談所

市内事業者指名の 明文化は

市長

市の方針を明文化、 姿勢を示したい

問 市内事業者の指名について、明文化する必要があると思いますが市長の考えを聞きます。

答 市長 地元経済の振興と域内循環の観点においては、市内事業者の育成、優先は常に意識をしています。発注内容に応じられると判断できる市内事業者は、可能な限り指名をし、受注できる機会を与えるよう指示をしてきていますが、明文化については必要であると感じています。物品等の調達に当たり、市の方針を明文化もし、市内事業者に対してもしっかりと周知をして、市の姿勢を示していきたいと考えています。

今後の教育ビジョンは

教育長

海洋教育と生業としての漁業に
絞りながら進めたい

問 1次産業、特に主要産業である水



濱口正久

産業に学ぶことで、自己肯定感を育み、ふるさと教育を充実させることは、次世代の担い手育成にもつながる重要な教育だと考えます。今後のビジョンを聞きます。

答 教育長 当面は、二つの領域に絞りながら進めていきたいと思っています。一つ目は、農業・林業・人々の暮らし方も含めた豊かな海を守るための海洋教育、二つ目が後継者育成も視野に入れた生業としての漁業です。鳥羽固有の研究施設や社会教育施設の活用、専門家の英知を結集し、幼・小・中、系統的でスタンダードな教育カリキュラムをしっかりとくっていききたいと考えています。



鳥羽市水産研究所に奈良教育大学附属中学校が海藻について見学研修に訪れました

耐震問題のある 営島保育所の今後の対応は

市長

しっかりと取り組んで いきたい

問 営島保育所は鉄筋コンクリート2階建てで、1階が耐震性能を下回る老人憩いの家で2階が耐震性能を上回る保育所です。巨大地震が発生した場合、1階の老人憩いの家が崩壊すれば、2階の保育所も崩壊すると思うが、建設課長の考えを聞きます。

答 建設課長 1階部分の耐震性能が指標値を下回っているので、2階は耐震性能があっても建物全体としては危険性がある建物ということになると思います。

問 巨大地震が発生した場合、倒壊等の危険性のある営島保育所は、耐震問題を解決する予算等、早急に判断して対応すべきと考えますが、市長の判断を聞きます。

答 市長 東日本大震災時に私は丁度、営島におり港から小学校に逃げたという特別な思いがあり、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。人口減少が進む中、既にある小学校校舎



南川則之

を活用することが現時点での最善策だと考えます。

鳥獣害対策への市長の 本気度は

市長 全ての課でアプローチしていく重要な問題だと思います

問 松尾町内会も鳥獣被害に悲鳴を上げています。鳥獣害対策への本気度を聞きます。

答 市長 農水商工課だけでやっていくには限界があり、全ての課でアプローチしていく重要な問題だと思います。これまで以上に力を入れてまいります。



1階営島老人憩いの家、2階営島保育所

英語教育について 市長の考えは



瀬崎伸一

市長

早い段階から始めることは可能性を広げる

問 ALT※が3名に増えた効果を聞きます。

答 学校教育課長 2名体制の場合、1日に複数校へ配置を余儀なくされ、苦慮していました。3名となり、1日を通して配置できるため、休み時間なども児童、生徒と触れ合う時間を確保することができ、コミュニケーションを図ることができます。

問 英語教育の今後について聞きます。

答 教育長 ALTの配置については民間の委託会社と契約しており、しっかりした研修体制と選抜体制を選んだが、さらに強化されるよう見えてきたいと思います。人数がいればいいというものではなく、熱意あるALTとそれに食いついていく子どもたちの姿を見ていきたいと願っています。

問 低年齢からの英語教育が重要と思いますが、市長の考えを聞きます。

答 市長 今のグローバル社会においては、実質的世界の共通言語である英語の習得は不可欠であり、早い段階から始めることは、英語そのものや

世界に対する抵抗をなくし、子どもたちの可能性を広げるものと思っています。鳥羽市においても、将来を担う人材、国際観光文化都市で活躍する人材を育てるためにも、英語教育は市の施策の一つとして位置付けて取組を行っていききたいと思っています。

※ALT: Assistant Language Teacherの略で外国語指導助手のこと



昨年度実施された鳥羽市イングリッシュキャンプ

海女漁業の 振興に向けた思いは



河村 孝

市長

必要な施策を打っていききたい

問 海女事業について、令和2年度で予算がカットされました。市長の考えを聞きます。

答 市長 地域再生計画の区切りの年度であったほか、財政健全化に向けた集中取組を踏まえ、大変苦渋の決断ではありますが、優先順位をつながら継続すべき事業を中心に予算化をしてきたという経緯もあります。

問 多くの事業を展開してきていますが、海女の所得は上がってきていません。現状をどのように考えていますか。

答 農水商工課長 海女の収入を直接的に底上げしていくという部分でまだまだ取組んでいく必要があると感じています。

答 市長 文化面に目が行って、苦労して、あるいは楽しみつづけてくるといふストーリー、プロセスの価値がうまく反映されていないような気がしますので海女が獲ったもののよ

さを漁観連携の中でももっとPRしていきたいと思っています。

問 最後に海女漁業の振興に向けた思いを改めて聞かせてください。

答 市長 海女漁を持続可能なものにしていくためにも、全国の海女をリードしていけるよう、いただいたご提案も含めて振興協議会や漁観連携ともしっかりと連携をとって、必要な施策を打っていききたいと思っています。

【海女もんシール・タグ】



海女漁獲物ブランド「海女もん」海女漁獲物保証票

コロナ感染症阻止と 経済活動の取り組みは



浜口一利

市長

私のメッセージを 通じて進める

問 地方への感染が拡大している中で、GOTOトラベルを進めている。国の動きをどのように感じていますか。

答 市長 命と経済の両立を柱にウイズコロナ時代を乗り切っていきたい。

問 市民の安心感につながる感染予防のための取り組みを聞きます。

答 健康福祉課副参事 新しい生活様式を取り入れた感染防止対策の周知徹底を確実に言い、必要な施策があれば積極的に取り組んでいきたい。

問 特に観光地として実施していきたい感染予防策を聞きます。

答 観光課長 「新しい生活様式」「新しい旅のエチケット」を取り入れた「これからの当たり前」を提唱しているまちであることを全国へ伝えることで、選ばれる観光地として第1歩となるものと考えます。



携帯用除菌スプレー「旅するスプレー」と感染予防対策実施ステッカー

問 感染防止と経済活動、市民を守るためには市長の強いメッセージが必要ではないかと考えます。

答 市長 「市民の命を守り、一つの事業所も倒産させない」という予防と経済面の両立は何度も言わせてもらっています。緊急経済対策部会、情報発信部会を設置して、市民の命と経済を守り、情報発信をすること、そして、私のメッセージを伝えることでコロナ対策を進めていきます。

鳥羽市の観光の状況は



山本哲也

観光課長

入湯税は 対前年比64%減

問 鳥羽市の観光の状況をどのように把握されていますか。

答 観光課長 お盆時期の調査では、宿泊者数は29・2%減でした。観光客動向把握の指標とも言える入湯税収入額については、現時点で対前年比64%減。直近の7月入湯税収入では対前年度の同月比マイナス34%と、大変厳しい状況と認識しています。

問 市内でも二極化があるかと思うが、どのように認識されていますか。

答 観光課長 回復傾向にある事業所とそうでない事業所の温度差、二極化について宿泊業だけではなく、飲食業や小売業など厳しい状況にある事業所にも寄り添った対応ができるよう、より一層の現状把握・連携に努めていきたいと考えています。

問 今後の観光行政の思いを聞かせてください。

答 市長 1つ目は、原点回帰というこ

とで、マイクロツーリズムによる可能性を広げていきたいと思っています。2つ目は、観光客と受入れ側の立場にとらわれない、もてなす側も楽しんで生き生きと暮らしができる、これも地域共生社会の実現に寄与できると思っています。3つ目ですが観光の仕事というか、お客さんの平準化です。4つ目は域内経済循環による持続可能なまちづくりに力を入れていきたいと思っています。



施策の効果や観光基本計画の見直しの必要性についても問いました

開催中！

TOBAミライトーク

7月にTOBAミライトークを2団体と実施しました。

7月16日 商工会議所女性部

テーマ 産業振興、雇用・環境、まちづくり・防災

参加人数 10人

広報広聴委員会で協議、報告しました。

当日出された意見は議員活動の参考といたします。



7月27日 鳥羽市教育委員

テーマ 子育て支援、教育

参加人数 4人

広報広聴委員会で協議し、報告しました。

当日出された意見は議員活動の参考といたします。



TOBAミライトークの詳しい内容や申込用紙は市議会ホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.toba.mie.jp/gikai-shomu/tobamiraitalk.html>

TOBA ミライトーク

検索

鳥羽市議会公式 LINE (ライン) を開設

鳥羽市議会ではこれまで Twitter(@tobacitycouncil) や Facebook(@tobacitycouncil) 等ソーシャルメディアを活用し情報発信を行ってきましたが、8月から市民の皆様に議会をもっと近くに感じていただけるよう、身近な情報発信ツールとして、公式 LINE アカウントを開設し、運用を開始しています。

① 議会日程等の情報発信

一般質問や会議の日程等をお知らせしていきます。

② キーワードによる自動返信

LINEの自動返信機能を活用し、あらかじめキーワードを設定しておくことで、すぐに知りたい情報が返信されます。

例：議案・日程・一般質問 等

登録方法

QRコードを読み取るか
LINEアプリで「鳥羽市議会」
と検索してみてください。



年賀状の自粛申し合わせについて

市議会では、「市議会議員」としての年賀状を自粛することを申し合わせておりますので、市民の皆様のご理解をお願いいたします。



きらり輝く人達

今、きらりと輝いている鳥羽市出身の人達にスポットをあてる企画です。

プロフィール

フェンシング選手
こくぼ まお
小久保 真旺 さん

星槎国際高等学校川口3年生。
鳥羽フェンシングクラブ出身。

2020年9月26日に行われた第73回フェンシング全日本選手権大会では男子サーブルにおいて史上最年少(17歳)で優勝に輝いた。また、翌日27日に行われたHigh School Japan Cup 2020※でも優勝し、2年連続で高校生チャンピオンにも輝いている。

※新型コロナウイルスの影響により全国高校総合体育大会(インターハイ)が中止となったことから開催された大会。

—全日本選手権大会やHigh School Japan Cup 2020での優勝おめでとうございます。数々の好成績を収められています。フェンシングを始めたきっかけを教えてください。

フェンシングを始めたのは、父親の職場の方に勧められて見学体験に行った事がきっかけです。楽しかったので兄と同時に始めることにしました。

—現在は鳥羽市を離れ、競技を行われていますが、小久保さんにとって鳥羽市はどんな街ですか。

私にとつての鳥羽は心身共に落ち着ける場所です。自然に囲まれているので時間の流れがゆったりしていて、海、山、食、全てにおいて私の癒しです。東京で暮らすようになり改めて鳥羽は自然豊かで素晴らしい街だと実感しています。

—最後に、鳥羽市民へメッセージをお願いします。

いつも応援して頂きありがとうございます。今回、全日本選手権で優勝することができても自信がつかしました。次はワールドカップなどの世界大会で上位に食い込めるよう頑張りますので今後とも応援よろしくをお願いします。

編集後記

わたしの議会。(とば市議会だより)第173号をお届けします。表紙にもありますように、鳥羽市議会公式の「LINE(ライン)」を始めました。「議会が住民に対して情報を公開するという一方的な意味合いではなく「議会と住民がともに情報共有する」という考えのもと開設しましたので、友だち登録をよろしくお願いいたします。

記 木下順一

広報広聴委員会	委員長	山本哲也
	副委員長	濱口正久
	委員	南川則之
	委員	奥村 敦
	委員	河村 孝
	委員	木下順一
	委員	浜口一利

前号(第172号)の記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

4ページ

「平成元年政務活動費収支報告」となっていますが、正しくは「令和元年政務活動費収支報告」です。